

屋上緑化を身近に

地球温暖化現象抑制・緑地面積増大等、効果があるとされている「屋上緑化」。これからは緑化するだけでなく、生活する(利用する)人たちに安らぎを与える身近な空間として活用していく必要があるのではないのでしょうか。

■ 緑による環境負荷の低減

私達が安全で豊かな暮らしを実現するため、また、二十一世紀にふさわしい地域環境を保全するためには、地球温暖化対策やヒートアイランド対策といった環境問題に効果的な緑地の保全整備・緑化運動を、早急に推進する必要があります。特に、

いでしょうか。関西圏の自治体においても屋上緑化推進のため助成金制度を設けて普及に向けた積極的な施策を進めている地域もあり、環境低負荷型まちづくりにも不可欠との判断から、着実に見直しが行なわれています。特に、すばらしい環境を有する滋賀県内においても、屋上緑化の積極的な導入が必要なのではないでしょうか。公共施設だけでなく民有地の緑化を推進し、既存建造物等の緑化を進め、緑豊かな都市環境の創出を行なうことが求められています。



屋上緑化に対する取り組み・技術は日々進歩しています。その最先端の技術と伝統芸術が融合することによる新たな屋上緑化の取り組みがなされています。目黒区役所総合庁舎屋上庭園は既存のセダムによる屋上緑化の撤去を行い、身近に緑と触れあう場として、教育環境の場として、憩いの場として、また心のやすらぎを求める空間として、そして地域住民へのサービスといった観点から屋上庭園の大改修が行なわれました。

設計・施工にあたって目黒区と東京農業大学が緑化に関する協定を締結し、屋上緑化では初の「官と学」の協同のもと、東京農業大学造園科学科近藤三雄教授と都市緑化技術研究室を主体として設計・施工にあたり、造園家の視点・技術による素晴らしい作品となりました。

また、庭園の随所に私達が住む滋賀の伝統芸術である信楽焼の陶製品が多く使われたという点からも、大変興味深い事例であります。それだけではなく、我々造園家が今まで築いてきた日本庭園技術・植物に関する知識・ランドスケープ技術すべてを融合して、一つの芸術作品にまで仕上げた屋上庭園です。

■ 伝統の信楽焼と最先端の技術の融合

- 目黒区役所総合庁舎屋上庭園 「目黒十五庭」 -



目黒区役所屋上庭園

信楽焼き陶製品



環境教育の充実
雨水流失の緩和
気象改善
屋上ガーデン等の活用
etc...

空気浄化
騒音の低減
火災延焼防止
省エネルギー推進

【屋上緑化の効果】

緑地としての屋上緑化から、楽しむ屋上庭園へ

■ 永続的に人が見て楽しめる庭にしていけないと屋上緑化に明日はない。

東京農業大学第一高等学校屋上緑化「天空の和(なごみ)の庭」



東京農大一高屋上庭園

現在、屋上緑化に関しては、人工軽量培土・セダムといった「超薄層軽量人工地盤緑化工法」が主力で各地で地盤改良主体に屋上緑化に対する取り組みが行なわれています。

その一方で、「目で見て楽しめるグレードの高い永続的な屋上緑化」を実現していくことが屋上緑化のどつて不可欠であると思われま

そのような中、東京農業大学第一高等学校教育環境整備事業の一環としてつくられた「天空の和(なごみ)の庭」は

- ①生徒の目と心を和ませ
- ②和みの心を生かす
- ③わが国の屋上緑化の原点ともいえる「芝棟」等のデザインフォルムや増やわれてきた知恵を生かす
- ④四季の彩りを演出
- ⑤最新技術の駆使
- ⑥今後の屋上緑化の範とする以上、6つのコンセプトにより、庭園がつけられました。庭園には和を生かした屋上回遊庭園がつけられ、植栽デザインとその戦略的試み

◆ これからの屋上緑化

安がる悪がるの屋上緑化の流れを変え、人が見て楽しめる空間づくりをしていくことは造園屋としては責務であり、これから屋上緑化を普及していくには必要不可欠なことです。我々が養ってきた、植栽基盤の技術・日本庭園の伝統・植栽の知識等。経験を十分に屋上緑化に応用して、一つの芸術作品として残して必要があるのではないのでしょうか。

東京農業大学造園科学科 近藤 三雄 教授



霧と雲による空間の演出が施され人の和による協同作業の成果により出来上がった屋上緑化です。

積載荷重の制限のある中、自然石のつくばいの使用や、樹齢120年の盆栽仕立てのゴヨウマツ、厚層日本芝、100種類以上の植物の使用等、新旧の造園技術を駆使して後世に残せる作品となっています。

さらなる環境向上を目指して

私たちは、緑に関するエキスパートとして、視察・研究を積み重ね、専門知識で屋上緑化をより素晴らしいものに変え、普及に努めています。

屋上緑化・校庭緑化・ピオトープ等、どんなことでもお気軽にお問い合わせください。



校庭緑化視察



屋上緑化視察

“しあわせ空間創造企業”

株式会社 植 空 (うेमोक)

滋賀県高島市新旭町熊野本984-2

TEL 0740-25-3046 FAX 0740-25-4494

URL <http://www.uemoku.com> e-mail info@uemoku.com